

# 「防災ディキャンプ2024 in 通町小」

柏木市民センター×青葉区中央市民センター

## 1 事業概要

令和6年度の仙台市の総合防災訓練の1つとして、「青葉区総合防災訓練」を通町小を会場として開催することが令和5年の12月に決まりました。このことを契機として、当市民センターから通町小おやじの会と通町小学校の校長先生に、「小学生親子の防災に関する企画講座を何か考えてみませんか」と提案したところ、賛同を得ることができました。おやじの会、先生方を企画員として本事業をスタートさせ、11月23日に開催予定の講座に向けて企画会を重ねました。



## 2 令和6年度の活動



4月から10月までに計5回の企画会を開催しました。第3回目からは、防災ディキャンプ当日のオープニングとエンディングを担当する防災ボランティアの東北福祉大学学生サークル「PASS」も加わり、当日の流れや企画員の思いを理解してもらいました。講座は11月23日（土）15時～19時、通町小を会場に開催し、小学生親子13組、31名が参加しました。「乾電池で火を起こそう」、「パーテーションを組み立てよう」、「非常食を食べよう」、「暗い校舎で謎解き」の4つの防災ミッションにチャレンジしました。「暗い校舎で謎解き」では、おやじの会で「防災担架をつくってみよう」などの5つの部屋を、ジュニアリーダーが「防災モルック」を、先生方が「秘密の部屋を探し出せ」のブースを運営しました。最後の企画会を1月か2月に開催し、令和6年度の振り返りを予定しています。

## 3 成果と課題

成果：防災ミッションの体験から、家庭での非常食の備蓄や持ち出しアイテムの見直しなど、参加者の防災意識を高めることができました。また通町小おやじの会、通町小学校、PASSとの協働的な企画・運営を通して、顔の見える関係を構築することができました。

課題：小学生の親世代を企画員として巻き込んだ会議や講座運営において、時間の設定や情報の共有の難しさを感じました。



## 4 今後の展望



企画員が、様々な場面で活躍することにより、地域の防災活動や地域活動に関心を持つ住民が増えつつあります。また令和7年度の通町地区防災訓練に向けた検討会では、町内会未加入の方々や若い世代に参加してもらえるように、「まつり」の要素を取り入れた訓練を企画していく方向性について検討されました。通町地区防災訓練の企画運営には連合町内会や小学校、PTA、おやじの会等の協力と共に、地域の学校との連携を深め、若い世代や親世代も巻き込んだ地域活性化を促していきたいと思っております。